

# 陸連時報 三

2015  
平成27年

6 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

## 目 次

強化関連情報(強化委員会).....	198
第41回世界クロスカントリー選手権大会報告(強化副委員長 酒井勝充)	
2015年度強化競技者・ディベロップメントアスリート専任コーチ会議報告 (強化委員会幹事 木越清信)	
ホクレン・ディスタンスチャレンジ2015大会要項.....	202
2015年度JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会開催要項.....	203
2014年度全国検定員会議報告(施設用器具委員会).....	204
施設用器具委員会報告(14-2)(施設用器具委員会).....	206
国際陸上競技連盟(IAAF)技術委員会報告(事務局事業部国際専任部長 関幸生).....	208
大会観戦ガイド.....	210
陸協NEWS.....	212
事務局からのお知らせ.....	214

## 公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わさせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

# 強化関連情報

強化委員会

## 第41回世界クロスカントリー選手権大会報告

強化副委員長 酒井 勝充

1. 期日：2015年3月28日(土)  
12:00 ジュニア女子  
12:30 ジュニア男子  
13:15 シニア女子  
14:10 シニア男子
2. 開催地：中国・貴陽
3. 派遣期間：3月23日(月)～29日(日)
4. 派遣スケジュール  
3月23日 国立スポーツ科学センター集合  
全体ミーティング  
3月24日 各自調整練習  
結団式  
3月25日 成田発  
貴陽・ホテル着  
3月26日 各自調整練習  
3月27日 各自調整練習  
コースの下見  
3月28日 世界クロスカントリー  
3月29日 貴陽発  
解団式(北京国際空港にて)  
成田着

### 5. 日本選手団一覧

役員：11名

No.	役職	氏名	所属
1	団長	川島 茂	日本陸上競技連盟 理事
2	ヘッドコーチ	酒井 勝充	日本陸上競技連盟 強化委員会 副委員長(中長距離・ロード統括)
3	コーチ	仲村 明	順天堂大学
4	コーチ	十倉みゆき	日本陸上競技連盟 強化委員会 女子長距離・マラソン部 委員
5	ジュニア ヘッドコーチ	岩本 真弥	日本陸上競技連盟 強化委員会 強化育成部 委員
6	コーチ	横山 美和	日本陸上競技連盟 強化委員会 強化育成部 委員
7	コーチ	佐野 純	日本陸上競技連盟 強化委員会 強化育成部 委員
8	ドクター	難波 聡	日本陸上競技連盟 医事委員会 委員
9	トレーナー	常友 綾二	日本陸上競技連盟 医事委員会 トレーナー部 部員
10	トレーナー	長田 瑞絵	日本陸上競技連盟 医事委員会 トレーナー部 委員
11	渉外	関 幸生	日本陸上競技連盟 事務局 事業部

選手：21名

NO.	種目	氏名	所属
1	シニア	久保田和真 (くぼた・かずま)	青山学院大学
2	男子	松枝 博輝 (まつえだ・ひろき)	順天堂大学
3	(3名)	花澤 賢人 (はなざわ・けんと)	順天堂大学
4		出水田真紀 (いずみだ・まき)	立教大学
5		荘司 麻衣 (しょうじ・まい)	中京大学
6	シニア	清水 美穂 (しみず・みほ)	ホクレン
7	女子	福田 有以 (ふくだ・ゆい)	豊田自動織機
8	(6名)	木村 友香 (きむら・ともか)	ユニバーサル エンターテインメント
9		池田絵里香 (いけだ・えりか)	肥後銀行

10		湊谷 春紀 (みなとや・はるき)	秋田工業高校 (3年)
11	ジュニア 男子 (6名)	坂口 裕之 (さかぐち・ひろゆき)	諫早高校 (3年)
12		鬼塚 翔太 (おにつか・しょうた)	大牟田高校 (2年)
13		館澤 亨次 (たてざわ・りょうじ)	埼玉栄高校 (2年)
14		松尾淳之介 (まつお・じゅんのすけ)	秋田工業高校 (2年)
15		下 史典 (しも・ふみのり)	伊賀白鳳高校 (3年)
16	ジュニア 女子 (6名)	樺沢和佳奈 (かばさわ・わかな)	常盤高校 (1年)
17		島田 美穂 (しまだ・みほ)	山梨学院大付属高校 (2年)
18		野添 佑莉 (のぞえ・ゆり)	神村学園高校 (3年)
19		鷺見 梓沙 (さしみ・あずさ)	豊川高校 (3年)
20		猿見田裕香 (さるみだ・ゆか)	豊川高校 (1年)
21		倉岡 奈々 (くらおか・なな)	鹿児島女子高校 (3年)

### 6. 競技者選考方法

第50回千葉国際クロスカントリー大会(2月8日)、第29回福岡国際クロスカントリー大会(2月21日)の2大会の結果からすべての代表競技者を決定した。シニア男子については、上位3競技者の欠場のため下位選手の補充をしない選考内規により3名の派遣とした。

### 7. 大会結果

シニア男子 12km

氏名	所属	順位	記録
松枝 博輝	順天堂大学	52	38分24秒
久保田和真	青山学院大学	85	40分08秒
花澤 賢人	順天堂大学	88	40分19秒

シニア女子 8km

氏名	所属	成績	備考
清水 美穂	ホクレン	23	28分26秒
荘司 麻衣	中京大学	39	29分09秒
池田絵里香	肥後銀行	43	29分17秒
福田 有以	豊田自動織機	54	29分45秒
出水田真紀	立教大学	56	29分50秒
木村 友香	ユニバーサルエンターテインメント	63	30分01秒

団体 9位

ジュニア男子 8km

氏名	所属	成績	備考
坂口 裕之	諫早高校 (3年)	35	25分46秒
鬼塚 翔太	大牟田高校 (2年)	49	26分16秒
松尾淳之介	秋田工業高校 (2年)	55	26分27秒
湊谷 春紀	秋田工業高校 (3年)	61	26分34秒
館澤 亨次	埼玉栄高校 (2年)	81	27分14秒
下 史典	伊賀白鳳高校 (3年)	87	27分18秒

団体 9位

ジュニア女子 6km

氏名	所属	成績	備考
鷺見 梓沙	豊川高校 (3年)	16	20分55秒
倉岡 奈々	鹿児島女子高校 (3年)	21	21分24秒
樺沢和佳奈	常盤高校 (1年)	29	21分48秒
野添 佑莉	神村学園高校 (3年)	32	21分55秒
島田 美穂	山梨学院大付属高校 (2年)	38	22分12秒
猿見田裕香	豊川高校 (1年)	61	22分57秒

団体 5位

### 8. 総括

#### (1) 目標

ジュニア女子は、個人で入賞、団体が3位以内、ジュ

ニア男子は、団体5位以内、シニア女子は団体10位以内、シニア男子は、団体規定数に達せず、個人40位を目標として臨んだ。

## (2) 評価

レースはどのカテゴリーもアフリカ勢の独壇場であり、ケニア、エチオピアに続いてウガンダ、エリトリア、バーレーン、タンザニアの台頭があった。その中でアメリカのシニア男女と開催国である中国シニア女子の活躍が目立った。また、かつてはクロスカントリーが隆盛であった欧州勢の参加が少なくなっている現状に寂しさを覚えた。ジュニアはシニアと比較して世界との差が小さいと考えていたが、力の差は歴然であった。特にジュニア男子は、団体でアメリカ、イタリアに後れを取ってしまった。

(参加者：シニア男子110名、シニア女子82名、ジュニア男子118名、ジュニア女子100名)

### シニア男子

今年度の千葉国際クロスカントリー大会、福岡国際クロスカントリー大会に日本のトップレベルの競技者が参加しておらず、また、世界クロスカントリー選手権を回避する競技者も多く、トップレベルを派遣したとは言い難くクロカンで世界と戦うことの厳しさを感じた。今回の代表競技者は全て大学生であり、世界クロスカントリー選手権を始めてとして世界大会の経験が今後のトラック、ロードレースに生きてくると考える。今後も大学生、若手を中心として派遣していきたい。

### シニア女子

今回の代表は、6人中5人がジュニア期に海外遠征を経験しており、アフリカ勢のスピードに圧倒されながらも落ち着いてレースに臨んでおり、ジュニア期の経験が大切であると感じた。今後もジュニアとシニアの連携を一層強固にして、経験が次の飛躍に繋がる施策を継続していく必要性を感じた。

### ジュニア男子

ケニア、エチオピアをはじめとするアフリカ勢に全く歯が立たなかった。走力の差はもとより、タフなコースに対応できる脚力をはじめとする基礎体力の差を感じた。

### ジュニア女子

鷺見梓沙選手(豊川高校)は、スタート直後のトップスピードには対応できなかったが、トップ集団から遅れてくる競技者をひとり一人と抜き去り、16位と健闘した。今回のメンバーは高校3年生3名、2年生1名、1年生2名と若い競技者の編成となったが、世界との差をレースで感じられたことは、今後の成長に大きく影響をもたらすと考える。

## (3) コース

6か所に障害があり、アップダウンがきつく、また、その中の一つは障害の前に窪地が掘られており日本のレースでは考えられないコース設計となっていた。このコースを走りきるためには脚筋力、持久力、スピード等を併せ持ったタフな競技者のみが戦えると感じた。

今後、世界クロスカントリー選手権を戦うためには、トラックを利用したスピード強化も必要であるが、自然環境を上手に活用して力強さを育むことも必要であると考えられる。

## (4) 試合までのトレーニング

代表競技者が決定してから派遣直前まで各自の調整に任せ大きな問題はなかったが、卒業入学の時期を控え体調管理が大変だったと感じた。貴陽は準高地(宿舎は、1200m前後・レース場は、標高1270m前後)であるため、科学委員会からの提案を受けて、23日から25日まで国立スポーツ科学センターの低酸素室を活用したこともあり、体調不良者は出なかった。

## (5) 現地調整

現地での調整は競技場の利用は出来なかったが練習のための公園(全天候型コース)が用意されており、順調に出来た。ただし、移動については、交通ルールと治安を考慮し、大会本部が準備したバスでの移動であったため時間に制限される不便さがあった。宿舎、食事については、大きな問題が無く落ち着いて調整が出来た。また、日本以外の大会で感じる運営等の違いに戸惑いを感じる事が多くあったが、トレーナーをはじめとする医療系スタッフ、国際陸連に強力なネットワークを持つスタッフおよび高校・大学の関係者の帯同もあり、ストレスが無くチームとして機能が果たせたと考える。

## (6) 今後に向けた提言

### 移動に関して

貴陽が国際的に主要な都市でなかった為、日本からの移動に想像以上時間(20時間)を要し、競技者へ大きな負担をかけてしまった。今後の移動手段については、効率性と競技者への負担軽減を考えた方法を探る必要性がある。

### 今後に向けての強化

シニア男子で優勝した選手はマラソンでも活躍しており、クロカンレースがマラソンの強化に結びついていることを実証している。日本国内でもクロカントレーニングの必要性が認識されているが環境面での問題もあり、取り組みが不十分である。マラソンのスピード化が進んでいる中、日本人も駅伝からマラソンという強化手段だけでなく、クロカンを活用した強化方法に着目し、速さ・強さ・タフさを併せ持つ競技者が多く輩出することを期待したい。



第41回世界クロスカントリー選手権大会(貴陽/2015) 日本選手団

## 2015年度強化競技者・ディベロップメントアスリート 専任コーチ会議報告

強化委員会幹事 木越 清信

日時：2015年4月2日（木） 14：00～

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室

### 挨拶 尾縣貢専務理事

尾縣専務理事より、「日本のトラックシーズン開幕が迫ったこの時期に、桐生選手と鈴木選手に関する素晴らしい報告に接した。北京世界選手権、リオデジャネイロオリンピックに向けていいスタートを切った。今後とも、強化委員と現場との情報交換および共有を密にして、良好関係を築いていきたい。」との挨拶があった。

### 議題：

#### 1. 2015年度強化方針について 原田康弘強化委員長

北京世界選手権およびリオデジャネイロオリンピックに向けて、以下に示す二つの方針が打ち出された。

##### (1) 北京世界選手権、リオデジャネイロオリンピック

に向けて戦える競技者の育成と派遣

- ・2012年度から代表選手選考において用いている派遣設定記録を継続して用いること
- ・個人強化の充実を図ること
- ・マラソンおよび男女短距離においてナショナルチームを編成すること
- ・国際競技会へ積極的に選手を派遣すること
- ・医科学・情報戦略部門をさらに充実させて、それを活用すること

##### (2) 2020年東京オリンピックに向けた選手の育成と強化

#### 2. 2015年シーズンの目標 原田康弘強化委員長

##### (1) 北京世界選手権でメダル2・入賞6を獲得すること

- ・メダル獲得を期待する種目：男子20km競歩、男子50km競歩、男子やり投、男女マラソン
- ・入賞を期待する種目：男子4×100mリレー、男子4×400mリレー、走高跳、棒高跳、十種競技、女子10000mなど

(2) 第2回ワールドリレーズ（ナツソー）において、男子4×100mリレーおよび男子4×400mリレーでは8位入賞をめざし、リオデジャネイロオリンピックの代表権を早期に獲得すること。女子の両リレーではベスト16の記録を目指すこと

#### 3. 強化競技者制度について 平野了強化委員会幹事

##### (1) 2015年度強化対象競技者

ゴールドアスリート4名、シルバーアスリート12名、ディベロップメントアスリート56名、U23オリンピック育成競技者12名、U19オリンピック育成競技者90名、ダイヤモンドアスリート11名

※強化競技者・個人強化費→ゴールド・シルバーアスリートのみ

※ディベロップメント以下→ブロック強化中心

※日本グランプリシリーズの招待：強化競技者とディベロップメントアスリートが対象

※味の素ナショナルトレーニングセンター利用権限：強化競技者・ディベロップメントアスリート

※強化競技者およびディベロップメントアスリートは居場所情報の提出が義務付けられていること

※2015年1月よりWADAコードが変わったためルールを把握し、居場所情報の提供などを徹底すること

##### (2) 2015年度強化競技者強化費

ゴールドアスリート1,000万円、シルバーアスリート500万円

対象：合宿・大会派遣・トレーナー・海外コーチなど  
・主な強化費の対象経費

交通費：（鉄道、バス、飛行機、タクシー）

諸謝金：（トレーナー、栄養士、国内・海外コーチへのコーチ料）

備品・消耗品：（トレーニングに必要な器具）

医療費：（年間10万円を対象）

・強化競技者の今後の手続き

4月下旬をめどに指定の案内（処遇細則・強化競技者契約書など）

5月上旬：年間計画書、強化競技者契約書、強化費使用計画、スタッフ調査などの提出

#### 4. 北京世界選手権およびその他国際大会代表選手選考要項 平野了強化委員会幹事

##### (1) IAAFエントリールール・日本陸連選考方針

##### (2) 2013年モスクワ世界選手権からの変更点：

・参加標準記録について：

ターゲットナンバーの設定。100mならば56など。フィールド種目は32。

・モスクワ大会までの世界選手権エントリーの流れ：参加標準A突破+参加標準B突破+ワイルドカード+エリアチャンピオンなど

（IAAFが理想とする選手数に対して多すぎる種目もあれば少ない種目もあった）

・北京世界選手権エントリーの流れ：  
参加標準記録突破者+ワイルドカード+エリア  
チャンピオン+IAAFが定めるターゲットナン  
バーに達していない種目に関してIAAFによるイ  
ンビテーション（8月10日以降）。8月22日から  
世界選手権開催のため、直前に連絡がくることにな  
る。5000m、10000m、マラソン、競歩にはイン  
ビテーションはなし。

※日本陸連選手選考スケジュール

※各種目の選考については配布資料を参考

## 5. 2020東京オリンピックプロジェクトについて

### 山崎一彦強化副委員長

#### (1) 2015年の目標と今後の課題

- ・タレントトランスファーマップの作成
- ・ダイヤモンドアスリートの実質的な活動
- ・タレントマネージャーの配置とタレント発掘
- ・海外拠点の整備
- ・ハイパフォーマンスコーチの養成

## 6. アンチドーピング関連情報

### 日本アンチ・ドーピング機構（JADA）担当者

#### (1) 世界アンチドーピング規程（2015年1月改訂）

#### (2) 日常生活における注意事項

#### (3) 2015年コードの主な変更点

- ・意図的な違反に対する制裁の厳格化 4年間停止
- ・人権の保護（未成年に対する規程が明確に記載。WADA未成年18歳）
- ・インテリジェンスと捜査
- ・アスリートサポートスタッフの重要性（コーチ、競技団体に対するアスリートの影響）
- ・検査計画や分析のスマート化
- ・IAAFとNADOの関係性
- ・よりクリアに、簡潔に
- ・その他

## 7. その他

#### (1) 情報部からの情報提供

##### 石塚浩強化委員会情報部長

- ・アジア地区 各種大会 過去7大会結果一覧（配布資料参照）
- ・2015年武漢アジア選手権参加国（日本選手がアジアでどの位置にいるのかがわかる）
- ・2013年アジアランキング

#### (2) オランダのスピードスケートチームの38年間のトレーニングの変遷

## 2015年度強化競技者・ディベロップメントアスリート 専任コーチ会議出席者一覧

氏名	指導競技者	
	氏名	種目
岡田 雅次	新井 涼平	やり投
永山 忠幸	福士加代子	マラソン
森下 広一	今井 正人	マラソン
図子 浩二	戸邊 直人	走高跳
湯本 善之	小林 快	20km競歩
井上 英典	丸尾 知司	20km競歩
小坂 忠広	谷井 孝行	50km競歩
清水 茂幸	吉田 琢哉	50km競歩
松田 克彦	右代 啓祐	十種競技
林 清司	木崎 良子・前田 彩里	マラソン
佐久間和彦	高瀬 慧	100m・200m
川合伸太郎	山縣 亮太	100m
小川 嘉孝	原 翔太	200m
安井 年文	藤光 謙司	200m
佐久間幸宏	高平 慎士	200m
松井 一樹	川元 奨	800m
西 政幸	鎧坂 哲哉	10000m
諏訪 利成	佐藤 悠基	10000m
佐藤 敏信	窪田 忍	10000m
迎 忠一	設楽 啓太	10000m
大澤 陽祐	設楽 悠太	10000m
田幸 寛史	上野裕一郎	10000m
酒井 俊幸	服部 勇馬	10000m
大串 亘	大迫 傑	10000m
船越 一彦	衛藤 昂	走高跳
後藤 元吾	高橋 佑悟	三段跳
渡辺 辰彦	村上 幸史	やり投
吉澤 永一	野田 明宏	20km競歩
柳澤 哲	藤澤 勇	20km競歩
児玉 泰介	西塔 拓己	20km競歩
中村 宏之	福島 千里	100m
高橋 昌彦	鈴木亜由子	5000m
若松 誠	高島 由香	10000m
小柳 直哉	山崎 里菜	10000m
山下佐知子	田中 華絵	10000m
里内 正幸	牧川 恵莉	10000m
安養寺俊隆	竹中 理沙	10000m
金 哲彦	木村 文子	100mH
篠原 太	井上 麗	20km競歩
北島 亮	浅田千安芸	20km競歩

# ホクレン・ディスタンスチャレンジ2015大会要項

## 1. 主催

北海道陸上競技協会

## 2. 共催

日本実業団陸上競技連合、士別市、深川市、北見市、網走市

## 3. 主管

道北陸上競技協会、空知陸上競技協会、オホーツク陸上競技協会

## 4. 後援

北海道新聞社、北海道文化放送、読売新聞社

## 5. 協賛

ホクレン

## 6. 運営協力

日本陸上競技連盟・強化委員会

## 7. 会場・期日・種目

会場	場所	期日	種目	
			男子	女子
第1戦・士別大会	士別市 陸上競技場	7月5日 (日)	1500m、 3000m、 5000m	1500m、 3000m、 5000m
第2戦・深川大会	深川市 陸上競技場	7月9日 (木)	1500m、 5000m、 10000m	1500m、 3000m、 10000m
第3戦・北見大会	北見市 東陵公園 陸上競技場	7月12日 (日)	800m、 1500m、 5000m、 3000mSC、 5000mW	800m、 1500m、 3000m、 5000m、 5000mW
第4戦・網走大会	網走市営 陸上競技場	7月16日 (木)	800m、 1500m、 5000m、 10000m、 10000mW	800m、 1500m、 5000m、 10000m、 10000mW

※ペースメーカーは、主催者が準備する。

①主催者が準備するペースメーカー以外は認めない。

②設定ペースについては、事前に協議し決定する。

## 8. 参加資格

- (1) 2015年度日本陸上競技連盟登録競技者。
- (2) 2014年1月1日～2015年6月22日の間に標準記録に到達した者。(トラックのみ有効)
- (3) 参加標準記録は以下の通りとする。

種目	男子	女子
800m	1'55"00	2'15"00
1500m	3'55"00	4'30"00
5000m	15'00"00	17'00"00
10000m	30'00"00	34'00"00
3000mSC	8'45"00	—
5000mW	22'00"00	24'00"00
10000mW	45'00"00	50'00"00

※参加標準記録を設けない種目については、日本陸上競技連盟登録競技者に参加資格を与える。

(4) 北海道陸上競技協会が推薦する北海道陸上競技協会登録選手。

(5) 日本陸上競技連盟強化委員会が推薦する選手。

(6) 日本実業団陸上競技連合が推薦する選手。

## 9. 申込方法

大会webサイトより所定の様式をダウンロードし、e-mailで6月22日(月)18:00までに申し込む。

\*欠場、種目変更の場合は、各大会の3日前(18:00)までに大会事務局に届け出る。

\*直前の申し込みを認める。各大会の3日前(18:00)までに大会事務局に届け出る。

\*欠場の場合も出場料は、徴収致します。

\*主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。

## 10. 参加料

事前申し込み(申し込み締切日まで)1種目につき2,000円

直前申し込み(申し込み締め切り後)1種目につき3,000円

\*参加料は当日会場で支払うこと。

## 11. 大会事務局

別途定める。

## 12. 強化費

(1)大会強化費を支給する。(日本人選手のみ対象)

(2)大会強化費支給基準は、別途定める。

(3)大会強化費受給対象者から、該当大会終了後60日を超えて振込口座申請書の提出が無い場合は受給権を放棄したものとみなします。

## 13. 連絡先

エントリー関連担当：強化委員会 吉川・木路

その他全般担当：日本陸連事務局 平野・藤代

TEL：03-5321-6580

FAX：03-5321-6591

e-mail：hokurendc2015@jaaf.or.jp



2015年度

# JAAF公認ジュニアコーチ 養成講習会

(日本体育協会公認陸上競技指導員養成講習会)



## 開催要項

### 1. JAAF公認ジュニアコーチ講習会とは

ジュニアコーチ講習会は主にジュニアの指導者を対象に陸上競技の「走・跳・投」の基本技術の指導方法を習得することを目的に開催致します。

- ※本講習会は日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づき実施致します。
- ※本資格を取得する為には「共通科目」(日本体育協会実施)「専門科目」(各競技団体実施)それぞれを受講し合格する必要があります。
- ※本資格を取得された方は、JAAF公認ジュニアコーチと同時に日本体育協会公認スポーツ指導員として認定されます。

### 2. 講習概要・料金

- 共通科目 35h (NHK学園 通信講座)
- 専門科目 40h (集合講習30h/その他10h)
  - ※専門科目講習日程:各会場3~4日間、1日8~10時間(理論・実技)
  - ※共通科目・専門科目講習は免除になる場合がある。
- 受講料:共通科目 21,600円  
 専門科目 15,120円+日体協手数料1,080円  
 ※適応コース承認校在学生の方  
 専門科目受講料 10,800円+日体協手数料1,080円  
 ※別途、指定の専門科目講習テキストの購入が必要になります。

### 3. 申込期間・申込方法

#### 申込期間 6月1日(月)~6月30日(火)

- 申込方法** 日本体育協会HP「スポーツ指導者マイページ」より申込  
 ※WEBのみの受付となります。FAX、書類等での受付はできませんので予め承知ください。  
 ※共通科目が免除の方も「スポーツ指導者マイページ」よりお申込ください。

#### 【共通科目が免除される条件】

- すでに公認スポーツ指導者資格を保有している場合
  - 「免除適応コース修了証明書」を保有している場合
  - その他関連資格を保有している場合。
- 詳細は日本体育協会HPをご確認ください。

#### 【専門科目免除の方】

JAAF公認ジュニアコーチ専門科目修了証明書取得者(全国小学生陸上競技指導者中央研修会修了者、2011年までにIAAF CECS L1、L2を取得した者)

#### 【適応コース承認校在生の方】

(※卒業後に日本体育協会に申請すると共通科目が免除されます)

- ※適応コース承認校とは  
 日本体育協会が実施しているスポーツ指導者養成講習会と同じカリキュラムを承認校で履修することができ、講習・試験の一部またはすべてが免除されるシステムです。

## ◆開催会場・日程一覧

開催地	日程	会場
北海道	8月4日(火)、8月5日(水)、8月6日(木)	北見市東稜公園陸上競技場
宮城	8月15日(土)、8月16日(日)、9月22日(火祝)、9月23日(水祝)	ひとめぼれスタジアム宮城(8月15日のみ) 仙台市陸上競技場
山形	9月21日(月祝)、9月22日(火祝)、12月5日(土)、12月6日(日)	山形県総合運動公園
福島	9月5日(土)、9月6日(日)、11月14日(土)、11月15日(日)	福島大学
埼玉	10月24日(土)、10月25日(日)、10月31日(土)、11月8日(日)	上尾運動公園陸上競技場
東京	9月21日(月祝)、9月22日(火祝)、9月23日(水祝)	味の素ナショナルトレーニングセンター
神奈川	11月21日(土)、11月22日(日)、11月29日(日)、12月13日(日)	城山陸上競技場
富山	8月1日(土)、8月2日(日)、8月8日(土)、8月9日(日)	富山県総合運動公園陸上競技場
三重	9月21日(月祝)、9月22日(火祝)、9月23日(水祝)	皇學館大学
大阪	8月11日(火)、8月12日(水)、8月13日(木)	ヤンマーフィールド長居
鳥取	11月21日(土)、11月22日(日)、11月23日(月祝)	大山町堂名和総合運動公園陸上競技場
広島	1月30日(土)、1月31日(日)、2月6日(土)、2月7日(日)	広島大学
香川	8月11日(火)、8月12日(水)、8月13日(木)	香川県立丸亀競技場
鹿児島	12月5日(土)、12月6日(日)、12月12日(土)、12月13日(日)	鹿児島県立鴨池補助競技場

- \*日程・会場は変更になる場合がございます。変更の場合は別途お知らせいたします。
- \*開始時刻は8時半~9時、終了時刻は18時~20時を予定しております。(会場によって異なります。)

## ◆本件に関するお問合せ

公益財団法人日本陸上競技連盟 ジュニアコーチ担当

TEL 03-5321-6580 FAX 03-5321-6591 Eメール coach@jaaf.or.jp

# 2014年度全国検定員会議報告

施設用器具委員会

期日：2015年3月21日（土）～22日（日）  
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター  
出席者：全国検定員45名（新規5名を含む）

施設用器具委員会 委員12名  
陸連事務局 関幸生、小原由美子、井上博友

施設用器具委員会では、全国技術役員会議と全国検定員会議を隔年で開催している。今年度は全国検定員会議を開催した。各都道府県より45名が推薦（新規5名）され、2日間の会議に参加した者が2015・2016年度の検定員として活動していくことになる。以下は2日間の会議の概要である。

## 【第1日】 司会（高沼正利委員）

◇開会のことば（小池一好副委員長）

◇挨拶（平塚和則委員長）

◇会議

### 1. 検定員の心構えと検定の

#### 注意事項

- (1) 検定員の心構え
- (2) 派遣費用の取り扱い
- (3) 検定業務の総合注意

#### ①検定業務とは

5年の間に改修をすることで競技場を維持している。そのために検定業務をやっている。選手のためである。

#### ②申請の手続き

申請が遅れたなどの理由の場合よく話し合う。延期願いを出してもらおう。長距離競走路公認大会をやるところしか公認を認めない。3ヶ月前に申請書を出す。あまり早く出し過ぎない。

#### (4) 公認期間

公認期間は5年。公認日は検定が終わってから3ヶ月以内で。期間が終了して2ヶ月が経つと自動的に抹消。でも廃止届けを出すように。改修が間に合わない等の場合、延期願いを出してもらおう。検定の延期という意味。その間は公認大会の実施はできない。保留・条件付きが付くことが最近多い。5年経つのに何もしていない。そんな状況の場合は厳しく指導してほしい。

・指導に関する考え方

「指導に書いてなかったからやらなかった」ということがある。用器具は足りないものだけ書くのではなく19条の規定に合致するよう補充するという文面を入れる。

#### (5) 検定員の地元大会での審判活動について

出来れば技術総務・公式計測員をやしてほしい。やりの検定もしっかりやってほしい。

### 2. 規則の修正と対応（高木良郎委員）

#### ○規則の修正

施設用器具委員会からの要望のもの

・「技術総務」の役割

用器具の点検は技術総務が行う。国内では公式計測員計測装置の承認→国際に。

・街角に設置された場所での世界記録は認められる。（国際）日本では競技場内であればならない。

・160条 トラック競技

障害の代用緑線：日本では線から30cmで距離を計算している。そのために緑線を置く。何m間隔で置くか。4mおき？1本抜き？本来は全部置く。しかし数が足りないので1本抜きにしている。審判ハンドブックに記載されている。

・160条-4 レーン幅

全面改修の場合1220にする。

・169条-5 障害物の幅

・187条-2 投てき物の持ち込みについて



国内の大会では外国のやりは通らない。国際大会（ゴールディングランプリなど）では○。しっかりと検査してほしい。

・世界記録、エリア記録はIAAFクラスI、IIを取っていただけない。クラスI、IIの申請は第1種競技場でなければならないが、記録を樹立した場合はこの限りではない。事後に申請を出せる。

・長距離競走路の改正

公認競技会を実施しない場合公認を認めない。継続申請もできない。

### 3. 実測報告書と陸上競技場検定の注意事項（鈴木存特別委員）

#### ○検定時の注意事項

・距離、レベル、施設、用器具の検査

レベル：レベルは業者に読ませない。

施設：砂場の数え方を間違えない。公認の対象にならないものは計測しなくてよい。

用器具：踏み切り板は実際に入れてみてよじれがないかを確認する。旧規格のものがいないかを確認する。投てき物も含めて。角度誤差は40秒くらいが許容範囲。

#### ○報告書提出書類に関する確認事項

・陸上競技場実測調査報告書

・平面図：修正箇所がわかるように明記を。

・派遣費用確認書：報告書と一緒に送付。報告書の送付を業者に依頼することはない。

### 4. IAAF 認証取得の申請方法と計測（福島信久委員）

#### (1) 認証取得の手続き

・陸連と調整してから申請書を提出する。

・申請料がかかる。

(IAAFクラス2認証冊子P4に記載)

・マーキングが異なるので図面等調整が必要。

・検定派遣基準：本部3名、地元検定員1名、隣接検定員1名、地元技術役員2名を委嘱。

～流れ～

舗装材試験→認定申請→検定→認定申請→認定

#### (2) 取得検定での注意事項

①第1種公認陸上競技場の計測とクラスI、IIの検定の違い

②計測日の注意点

③現状と問題点

メジャーと光波距離の違いは？先日の検定では1.2mm程度であった。

クラスI、クラスIIを取らないけどマーキングIAAFにすることが可能になった。

### 5. 検定に関する課題と意見交換

(小池一好副委員長、大島副委員長)

○8レーンを9レーンにする場合、すべて同じでなければならないか。

→既設のものと同様でよい。ウレタンは同等・表面仕上げは同一で。

○収容人数の基準を統一しないとどのように計算したらよいかわからない。

→消防署に聞いたら全然違う数字が。日本体育協会の基準を適用した。1m<sup>2</sup> 0.5で計算した。

→一番上の通路を立ち見席という扱いで人数を増やした。

→消防法の数字を使う。

○第1種、第2種必備器具の中にフィニッシュタイマー・光波計・YO1式スタート発信装置を入れられないか。入っていないと買ってくれない。

○表示器に「デジタル」を入れてほしい。記録処理PC・囲いを一覧表の中に入れてほしい。

○指導について。「1年前に現地指導を受けること」と明記してほしい。

→全天候の場合3年前くらいから声をかけて直させないと直しきらない。1年前で遅いのでは。

○2017年4月以降降格になった競技場はどうなるか。

→公認取り消しではない。降格である。

- 長距離競走路で公認大会を実施しないことになった場合その時点で廃止？
  - 次回申請時に公認大会を実施しない場合と申請出来ない。その場で廃止ではない。
  - 新設の時に継続の時にチェックする。落とすための規程ではない。公認をとる形で指導していただきたい。
- 2023年に国体があり、その際に1種競技場を作る。2017年には間に合わない。サブ3種競技場を整備すれば何とかならないか。
  - 2017年に関しては特例はないと考えてほしい。
- クラスIIについて、第2種と第3種でも可能ということか？マーキングはそのままが良いのか。逆に出る前になおしても良いのか。
  - 記録が出た場合は可。
  - 2004年以前の競技場はそのままで良い。だめな競技場もある。各種条件が揃わないと認められない。最近できた競技場はマーキングが直ってないがため。何でも大丈夫なわけではない。

## 【第2日】 司会（高沼正利委員）

### 6. 長距離競走路検定における課題と問題点（飯村光夫委員）

- ・第4条 セパレーションとエレベーション
  - 競走路の選定には以下のように留意すること。
  - ・初めての競技者にもわかりやすいコースとすること。
  - ・競技運営が確保できる十分な幅員のこと。
  - ・芝生その他の未舗装路は最小限にとどめること。
  - ・交通量など交通状況が競技会開催に支障がないこと。
  - ・勾配の変化、急な屈曲部が多くないこと。
  - ・スタート・フィニッシュ地点及び折り返し点に十分な広さがあること。（検定要項P101参照）
- ・第5条 競走路公認競技会を開催する場合に申請できる。申請書に添付する設計図または案内図はコースの所在を示す5000分の1～3000分の1の地図に競走路の経路、主要地点の距離を朱書きしたものとす。
- ・課題と問題点
  - ①長距離競走路計測の歴史
    - （検定要項P99～参照）
  - ②マラソンの世界記録・日本記録
  - ③マラソンコースの公認の条件
    - セパレーションとエレベーション
    - （検定要項P100）
    - 事前に申請者と確認を。
  - ④マラソンコースの検定・計測→省略
  - ⑤継続のマラソンコース検定
    - コースに変更がなくても再計測をしなければならない。
    - 一部変更の場合、自転車計測の場合は陸連に問い合わせを。
  - ⑥マラソンブームによる新設申請増加について

### 7. 用具の検定と競技会、競技場での検査（平塚宣信委員）

#### ○用具検定の概要（どのように検定をしているか）

- (1) 検定を必要とする用具
- (2) 検定手続きの順序
- (3) 検定用具
  - ①競走用競技用具
  - ②跳躍競技用具
  - ③投てき競技用具
- (4) 各器具の検定料

#### ○規則改正に伴う取り扱い

- (1) 棒高跳ボックス
- (2) 棒高跳支柱
- (3) 棒高跳マット
- (4) 粘土板

#### ～やり検定器の使用法について～

実際に検定器・やりを使用した説明

#### ～やり検定器がない場合の検査方法について～

各ブロックに分かれて検査方法の説明

重さ・長さの測定・重心の測定

今回やり先端の角度測定器を全検定員・技術役員に配布

### 8. 新検定メジャーの取り扱い（高木良郎委員）

P91の文書を付けて各県に送付した。

- (1) 検定メジャー更新の経緯

- (2) 検定メジャーの作成

- (3) 検定メジャーの配布

P92取り扱いに関する文書

- ・張力が100Nになって。間違わないように。スプリングには100Nに赤く印してある。
- ・呼び方は「100（ひゃく）」
- ・100Nのスプリングはなかなか売られていない。予備にもう1本配布することを検討している。壊れてしまった場合、10.2kgのテンションで引く。
- ・温度の変化への反応が速い。
- ・始まる前に十分にテンションをかけておくこと（30分以上）。
- ・風が強いとき。陽が変わるとき。温度の変化が激しいので落ち着くまで待つ、等する。日影を測るときは合わないことがある。日影の温度を測る等工夫が必要。
- ・幅が2mm狭くなった。厚みは同じ。以前のメジャーは目盛りを手作業で付けていたのでその分厚い。今のメジャーは印刷で目盛りを振っている。
- ・事前に業者に新しいメジャーで当たっておいてもらう。前回検定で距離がぎりぎりの所は特に。仮計測で確認してもらい調整しておいてもらう。
- ・旧メジャーの扱い。現在所有している人が処分していただきたい。今後どのように処分したかを確認する文書を配布予定。

### 9. IAAFの動向（関幸生IAAF技術委員会委員）

- ・規則改正について

#### ○IAAF 認証項目

- ①競技場はIAAFから委任を受けた日本陸連施設用器具委員会が検定をし、IAAFに申請をする。
- ②トラック舗装材認証
  - IAAF競技場認証には必須。日本では9社24製品が認証されている。IAAFが認証していない舗装材を使用している競技場もある。注意を。
- ③投てき用具認証
  - 世界記録の認証と国際大会での使用には必須。IAAF認証はあるが、日本陸連の検定合格証がない用具は、国内公認大会では使用出来ない。
- ④陸上競技器具の認証
  - 大会での必須要件はない。埋め込み式の緑石がステンレスやアルミの場合IAAFでは認められない。

#### ○自転車計測とIAAF

世界記録公認では自転車計測が必須。出場のための参加標準記録が認められるためのレースもIAAFの認証を受けた自転車計測が必須。エリア記録でも同様。海外の選手を受け入れているレースは十分な注意が必要。

#### ○人工芝の検討動向

187条 落下域は芝、土または適当な材質。痕跡が残ること。

→投てき可能な人工芝の使用は認められる。

将来にはIAAF認証品とするために基準を作る。日本では検討課題。

#### ○2014年の事例

187条-8 円形のリングは187条-8に白線がはっきり見える様に白以外の色であることが望ましい。となっているので白が見受けられた。今後ルールが変わる可能性。

### ◇閉会の言葉（大島巖副委員長）

2日間お疲れ様でした。ここで得たことをまた地元に戻って還元して下さい。



# 施設用器具委員会報告(14-2)

施設用器具委員会

## ◆2014年度に公認した競技場及び長距離競走路

(2014.09.24～2015.03.18)

8924	美幌町柏ヶ丘(運)(陸)	網走郡美幌町字西2条南5丁目	第4種 400m 一部全天候 継続	2014.09.15～2019.09.14	
8925	県都一周(長)	秋田市八橋(運)～	42km195 21km0975 20km 10km 循環 継続	2014.10.10～2019.10.09	
8926	高根沢町元気アップ(ハ)	高根沢町町民広場(陸)～高根沢町平田	21km0975 自転車計測 循環 継続 一部変更	2014.11.01～2019.10.31	
8927	はが路ふれあい(長)	井頭公園内売店前～井頭公園東駐車場内	コード番号 097070 42km195 自転車計測 循環 新設	2014.10.02～2019.10.01	
8928	松戸市(運)(陸)	松戸市上本郷4434	第3種 400m 全天候 継続	2014.10.01～2019.09.30	
8929	国際武道大学(陸)	勝浦市新官字物見塚841	第3種 400m 全天候 継続	2014.09.30～2019.09.29	
8930	新発田市五十公野公園(陸)付属(長)	新発田市五十公野公園(陸)～	新発田市大友	42km195 往復 継続	2014.12.12～2019.12.11
8931	大野(ハ)	大野商工会議所会館前～大野市丸城清酢付近	21km0975 10km 往復 継続 一部変更	2013.12.01～2018.11.30	
8932	河内長野市(ハ)	中村池公園前～宮前橋～河内長野市立長野小学校	21km0975 10km 往復 継続	2014.10.01～2019.09.30	
8933	篠山城跡(長)	篠山市役所東側～篠山市山田～篠山城跡三の丸広場	42km195 自転車計測 一部循環 往復 継続	2014.11.28～2019.11.27	
8934	新居浜市東雲(陸)	新居浜市東雲町3丁目地先	第4種 300m 全天候 継続	2014.09.23～2019.09.22	
8935	大仙市太田町公認(10km)	太田町惣行～太田町大台	10km 循環 継続	2014.10.10～2019.10.09	
8936	ながい山の港町(長)	長井市(陸)南側道路～長井市(陸)内	コード番号 067160 42km195 21km0975 自転車計測 循環 新設	2014.10.05～2019.10.04	
8937	武蔵野市立武蔵野(陸)	武蔵野市吉祥寺北町5-11-20	第3種 400m 全天候 継続	2014.11.01～2019.10.31	
8938	三浦国際市民(ハ)	三浦海岸下浦第2駐車場～城ヶ島公民館入口	21km0975 10km 自転車計測 循環 往復 継続	2014.10.01～2019.09.30	
IAAF					
8939	飯田市(総)	飯田市松尾明7445	第2種(B) 400m 全天候 継続	2014.10.10～2019.10.09	
8940	岐阜経済大学(陸)	安八郡神戸町柳瀬字西河原2117	第4種 400m 全天候 継続 改造	2014.11.25～2019.11.24	
8941	奥出雲町三成公園(陸)	仁多郡奥出雲町三成188-1	第3種 400m 全天候 継続	2014.03.30～2019.03.29	
8942	鳥栖(10km)	鳥栖スタジアム南ゲート～	10km 自転車計測 循環 継続	2014.11.01～2019.10.31	
8943	宮崎県西部公認(長)	西都市星陵町～A大宇南方字山島津 B大字三納字吉田	42km195 往復 継続	2014.10.20～2019.10.19	
8944	蘭牟田池湖畔周回(10km)	市道蘭牟田池～百年杉館前	10km 周回 継続	2014.10.10～2019.10.09	
8945	東京学芸大学(陸)	小金井市貫井北町4-1-1	第4種 400m 全天候 継続	2014.04.22～2019.04.21	
8946	魚津しんきろう(ハ)	魚津テクノスポーツドーム～A仏田 B吉島 C三ヶ	21km0975 10km 往復 継続	2014.12.01～2019.11.30	
8947	南紀田辺スポーツセンター	田辺市上の山1-23-1	コード番号304030 第4種 400m 全天候 新設	2014.11.01～2019.10.31	
8948	吉賀町立蔵木中学校(グ)	鹿足郡吉賀町蔵木54	第4種 200m 土質 継続	2014.11.01～2019.10.31	
8949	萩ウエルネスパーク多目的広場	萩市大字椿森口	第4種 400m 一部全天候 継続	2014.11.15～2019.11.14	
8950	中泊町(運)(陸)	北津軽郡中泊町大字宮野沢字袴腰山1-84	第4種 400m 全天候 継続	2014.11.17～2019.11.16	
8951	八戸うみねこ(ハ)	八戸市新湊3丁目～大字鯉町字堀込	21km0975 10km 往復 継続 一部変更	2014.12.01～2019.11.30	
8952	山陽女子(ハ)	岡山県(陸)～	21km0975 10km 循環 継続	2014.12.10～2019.12.09	
8953	広島経済大学(陸)	広島市安佐南区祇園5-37-1	第4種 400m 全天候 継続	2014.10.18～2019.10.17	
8954	指宿(10哩)	指宿市営(陸)～A塩浜町 B宮ヶ浜	10哩 10km 往復 継続	2014.11.11～2019.11.10	
8955	竹田市(陸)	竹田市大字竹田1320	条件付 コード番号 444010 第4種 400m 全天候 継続	2014.10.15～2019.10.14	
8956	千歳市青葉(陸)	千歳市真野176-1	第3種 400m 全天候 継続	2014.11.30～2019.11.29	
8957	小樽手宮公園(競)	小樽市手宮2-5-1	第3種 400m 全天候 継続	2014.09.18～2019.09.17	
8958	長井市(陸)	長井市久野本1106他	コード番号063100 第3種 400m 全天候 新設	2014.12.01～2019.11.30	
8959	愛媛マラソン松山(長)	愛媛県庁前～松山市河野別府～松山市堀之内公園	42km195 自転車計測 一部循環 往復 継続 一部変更	2014.12.01～2019.11.30	
8960	奥球磨(ハ)	水上中学校入口交差点～A湯前町役場前	B多良木駅前交差点	コード番号437140 21km0975 10km 自転車計測 往復 新設	2014.11.15～2019.11.14
8961	伊那市営(10哩)	伊那市営野球場前～伊那市若宮	10哩 10km 自転車計測 往復 継続	2014.11.30～2019.11.29	
8962	札幌市厚別公園(競)	札幌市厚別区上野幌3条1-2-1	クラス2 第1種 400m 全天候 継続 改造	2014.11.25～2019.11.24	
8963	札幌市厚別公園補助(競)	札幌市厚別区上野幌3条1-2-1	コード番号013440 第3種 400m 全天候 新設	2014.11.25～2019.11.24	
8964	山形県立寒河江高等学校運動場	寒河江市大字寒河江字鷹の巣	第4種 400m 土質 継続	2014.12.01～2019.11.30	
8965	碓氷峠ラン184(ハ)	軽井沢プリンスホテルスキー場駐車場前市道	～国道18号旧道カーブ27地点	コード番号107130 21km0975 自転車計測 往復 新設	2014.12.01～2019.11.30
8966	軽井沢マラソンフェスティバル(ハ)	軽井沢プリンスホテルスキー場駐車場前～中軽井沢診療所前	コード番号207220 21km0975 自転車計測 一部循環 往復 新設	2014.12.01～2019.11.30	
8967	瑞穂公園(陸)付設(20km歩)	瑞穂公園(陸)～	コード番号227120 20km 10km 5km 周回 新設	2014.12.01～2019.11.30	
8968	国立市(20km)	国立市谷保～府中市南町4丁目	20km 10km 自転車計測 往復 継続	2015.01.01～2019.12.31	
8969	中日福井(ハ)	西武デパート前～A寺島南交差点	B田尻栃谷南交差点～福井(運)(陸)	21km0975 20km 一部循環 片道 継続	2014.07.31～2019.07.30
8970	岡山県笠岡(陸)	笠岡市平成町63-2	第2種 400m 全天候 継続	2015.01.01～2019.12.31	
8971	奈良(長)	奈良市鴻ノ池(陸)～A二条大路5丁目交差点	B天理大橋北詰交差点 C天理高校北交差点	42km195 自転車計測 一部循環 往復 継続	2015.03.01～2020.02.28
AIMS					
8972	高知県立春野総合(運)(陸)	高知市春野町芳原2485	クラス2 第1種 400m 全天候 継続 改造	2015.01.01～2019.12.31	
8973	かすみがうら(長)川口(運)前道路～手野町南交差点先～川口(運)(陸)	IAAF 42km195 自転車計測 循環 継続 一部変更		2015.01.01～2019.12.31	
8974	霞ヶ浦(10哩)	川口(運)前道路～手野町南交差点～沖宿町	～川口(運)(陸)	コード番号087170 10哩 自転車計測 循環 新設	2015.01.01～2019.12.31
8975	日光ハイウェイ(長)	ファミリーマート日光清滝店前～A大沢料金所手前	B細尾大谷橋手前	条件付 コード番号097080 42km195 自転車計測 往復 新設	2014.12.25～2019.12.24
8976	犬山(ハ)	内田防災公園～丹波郡扶桑町小淵～	21km0975 10km 自転車計測 循環 継続	2015.01.15～2020.01.14	
8977	久留米(10km)	福岡県立久留米S.C(陸)～百年公園	10km 自転車計測 循環 継続	2015.01.20～2020.01.19	
8978	阿波シティ(ハ)	阿波市役所～A市場町尾開字八坂 B土成町寺ノ下	コード番号367070 21km0975 自転車計測 往復 新設	2015.02.01～2020.01.31	

8979	別府大分毎日第2(長) 大分市高崎山うみたまご～A別府市亀川バイパス～大分市菅(陸)	AIMS	42km195	自転車計測	一部往復 片道 継続	2015.02.01～2020.01.31
8980	富士総合(運)(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続					2015.04.15～2020.04.14
8981	矢掛本陣(ハ) コード番号337160 21km0975 10km			自転車計測 周回 新設		2015.02.01～2020.01.31
8982	豊津(陸) 第4種 400m 全天候 継続					2015.02.01～2020.01.31
8983	唐津市(陸) 第3種 400m 全天候 継続					2015.03.20～2020.03.19
8984	都農尾鈴(ハ) 21km0975 10km 往復 継続					2015.02.11～2020.02.10
8985	六甲アイランド甲南大学周辺(20km歩) 甲南大学(グ)北～	IAAF	20km 10km 5km	自転車計測 周回 継続		2015.01.01～2019.12.31
8986	ぐんま県民(長) コード番号107140 42km195 10km			自転車計測 循環 新設		2015.03.15～2020.03.14
8987	駒沢オリンピック公園(総)(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続 改造					2015.04.01～2020.03.31
8988	秋留台公園(陸) 第3種 400m 全天候 継続					2015.04.01～2020.03.31
室内77	大阪城ホール 室内77 16B種 160m 新設					2015.02.06～2019.02.08
8989	小郡市(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続 改造					2014.02.28～2019.02.27
8990	出水市(陸) 第4種 400m 一部全天候 継続					2015.03.31～2020.03.30
8991	船橋市(運)(陸) 第2種 400m 全天候 継続					2015.04.01～2020.03.31
8992	野田市総合公園(陸) 第3種 400m 全天候 継続					2015.04.01～2020.03.31
8993	府中市郷土の森(ハ) 第1野球場～A調布市上石原2丁目(東) B国立市泉2丁目(西)		21km0975 10km	自転車計測 往復 継続		2015.04.01～2020.03.31
8994	神奈川県立体育センター(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続					2015.04.01～2020.03.31
8995	京都府立丹波自然(運)(陸) 京都府船井郡京丹波町菅根前下代110-7					2015.06.01～2020.05.31
8996	泉州国際市民(長) 浜寺公園～A堺市大浜中町 B泉佐野市高松南		42km195	自転車計測 一部往復 片道 継続		2015.04.01～2020.03.31
8997	洲本市市民交流センター(陸) 第4種 400m 一部全天候 継続					2015.03.01～2020.02.28
8998	伊達ももの里 保原中央交流館前～柱田高野集会所付近		10km	自転車計測 往復 継続 一部変更		2015.04.30～2020.04.29
8999	長野県松本平広域公園補助(競) 第3種 400m 全天候 継続					2015.04.01～2020.03.31
9000	長野県松本平広域公園(陸) クラス2 第1種 400m 全天候 継続					2015.04.01～2020.03.31
9001	中種子町(陸) 熊毛郡中種子町野間字小牧ノ平5897					2014.10.06～2019.10.05
9002	宮城スタジアム 第1種(多) 400m 全天候 継続					2015.03.21～2020.03.20
9003	宮城スタジアム補助(競) 第3種 400m 全天候 継続					2015.03.21～2020.03.20
9002-投	宮城スタジアム付帯投てき場 9002-投 投てき場 継続					2015.03.21～2020.03.20
9004	世田谷区立(陸) 第3種 400m 全天候 継続 改造					2015.02.01～2020.01.31
9005	静岡県草薙(総)(陸) 第1種 400m 全天候 継続					2015.05.01～2020.04.30
9006	静岡県草薙(総)補助(陸) 第3種 400m 全天候 継続					2015.05.01～2020.04.30
9007	大垣市浅中公園(陸) 第3種 400m 全天候 継続					2015.03.25～2020.03.24
9008	別府市スポーツセンター(陸) 第2種 400m 全天候 継続 改造					2015.03.31～2020.03.30

8294-投 大分スポーツ公園だいぎんフィールド 大分市大字横尾1351  
8294-投 投てき場 継続 2015.04.01～2020.03.31

### ◆検定期が承認されている競技場及び長距離競走路 (2015.03.18現在)

[青 森]	ふるさと(運)	2015.05.01～2015.05.31
[岩 手]	遠野じんぎすかん(ハ)	2014.05.22～2015.05.20
[岩 手]	大船渡市(長)	2014.08.28～2015.08.26
[秋 田]	田沢湖(長)	2015.04.01～2015.09.30
[秋 田]	大仙市立西仙北中学校(陸) 第4種 400m	2015.06.30～2016.06.29
[福 島]	あぶくま高原いいたて(長)	2014.09.30～2015.04.29
[茨 城]	笠松(運)補助 第3種 400m	2015.03.27～2016.03.26
[茨 城]	阿見町総合(運) 第4種 400m	2015.03.20～2016.03.19
[栃 木]	大田原市(長)	2015.04.01～2015.10.31
[東 京]	東京大学(陸)	2014.12.01～2015.05.31
[東 京]	江東区夢の島(競)	2015.04.01～2015.08.31
[神奈川]	大和市宮大和スポーツセンター(競)	2015.03.15～2016.03.14
[福 井]	福井県営(陸)	2015.04.01～2016.03.31
[静 岡]	国立大学法人静岡大学(陸) 第4種 400m	2015.02.15～2016.02.13
[兵 庫]	都麻の郷交流(グ) 第4種 400m	2015.03.01～2015.03.31
[鳥 取]	境港市宮電ヶ山(陸) 第4種 400m	2015.03.24～2015.03.31
[愛 媛]	愛媛県総合(運)補助 第3種 400m	2014.10.01～2015.03.31
[長 崎]	長与総合公園(運)広場 第4種 400m	2014.12.17～2015.12.16

### ◆公認が廃止となった競技場及び長距離競走路 (2014.09.24～2015.03.18)

[北海道]	京極町リフレッシュパーク町民(グ)	第4種 300m	2014.09.09限り
[北海道]	八雲スポーツ公園(陸)	第4種 400m	2014.10.31限り
[青 森]	青森県立黒石高校	第4種 300m	2014.08.31限り
[青 森]	六戸町総合(運)(陸)	第3種 400m	2015.04.17限り
[岩 手]	久慈(総)	第4種 400m	2013.08.31限り
[岩 手]	奥州えさし(ハ)		2015.03.31限り
[群 馬]	前橋シティ(ハ)		2014.01.05限り
[群 馬]	ぐんま県民(ハ)		2015.02.16限り
[東 京]	いたばしリバーサイドコースⅡ(ハ)		2014.11.14限り
[東 京]	国立霞ヶ丘(競)	第1種 400m	2015.03.01限り
[東 京]	神宮外苑(ハ)		2015.03.15限り
[山 梨]	河口湖日刊スポーツ(長)		2015.01.31限り
[新 潟]	新潟市立亀田中学校(グ) 第4種 200m		2015.01.31限り
[長 野]	梓川(ハ)		2014.08.11限り
[静 岡]	浜松市四ツ池公園(ハ)		2014.08.31限り
[静 岡]	磐田市(陸)	第3種 400m	2014.09.01限り
[愛 知]	庄内緑地公園(20km)		2014.12.03限り
[三 重]	伊勢(ハ)		2015.03.31限り
[兵 庫]	和田山中学校(陸)	第4種 250m	2014.10.31限り
[兵 庫]	関西学院大学神戸三田キャンパス(陸)	第4種 400m	2015.01.14限り
[鳥 取]	奥日野(長)		2014.10.30限り
[愛 媛]	しおさい公園伊予市民(競)	第4種 400m	2013.11.02限り
[高 知]	宿毛花へんろ(長)		2014.02.21限り
[熊 本]	奥球磨(ハ)		2014.10.31限り
[鹿児島]	鹿児島県立鴻池(陸)付帯投てき場		2015.04.29限り
[沖 縄]	下地(陸)	第4種 400m	2014.10.07限り

### ◆種別変更のあった競技場(2014.09.24～2015.03.18)

[大 分] 竹田市(陸) 第3種⇒第4種(降格) コード番号444010

### ◆名称変更 (2014.09.24～2015.03.18)

[北海道]	小樽市手宮公園(陸)⇒小樽市手宮公園(競)
[東 京]	東京学芸大学(陸)⇒東京学芸大学総合(グ)
[富 山]	黒部(長)⇒黒部名水(長)
[富 山]	黒部名水(長)⇒黒部名水第2(長)
[三 重]	三重県営総合(競)(陸)
[三 重]	三重県営総合(競)(陸)補助(競)
[和歌山]	洲本市スポーツセンター(陸) ⇒洲本市市民交流センター(陸)
[山 口]	防府市(陸)⇒防府市スポーツセンター(陸)
[宮 崎]	尾鈴(ハ)⇒都農尾鈴(ハ)

# 国際陸上競技連盟 (IAAF) 技術委員会報告

事務局事業部国際専任部長 関幸生 (IAAF 技術委員会委員)

2015年3月14日～15日、モナコのIAAF本部でIAAF技術委員会会議が開催された。2011年のIAAF総会で委員に再選され2期目4年間の任期最後の会議であった。

本年は、8月にIAAF総会が北京で開催されるが、IAAF憲章では、選挙が主目的の総会と規則修正が主目的の総会を2年ごとに交互に実施することになっているが、緊急性の高い案件に関しては、選挙の年でも、加盟団体（各国陸連）からの提案が認められている。

委員として8年を経験して感じたのは、各国からの規則修正提案は、憲章の規定に関係なく、総会が開かれる2年後ごとに大量に寄せられるという事実である。各国の競技規則への関心が高いことは確かだが、今から50年前のルールブックのページ数は、今の半分ほど。当時はそれでも競技が成立していたわけだが、様々なカテゴリーの競技会が世界各地で毎週のように実施されるようになり、多くの最新技術が導入されている現代の陸上競技では、より細かい決め事が必要ということなのかもしれない。

技術委員会は、「競技規則に関するすべての問題を取り扱う」とされ委員長を含め16名が定員である。加盟団体から提出された規則の修正は、技術委員会が内容を検討し、採用に値するか (+) 否か (-) の別を明示してカウンシル会議 (理事会) に提案、承認されたものが、総会で提案される流れとなっている。技術委員会で (-) 評価を受けた提案は、総会では、議論の対象にもならないので、規則の修正においては、技術委員会内でいかに理解を得るかが重要となる。

今年は、12の加盟団体から65件の提案の審議と、委員会が継続して検討してきた規則修正等79件についての取りまとめ、規則運用の解釈についての議論等をおこなった。後述するが日本からも2件の提案がなされ、ひとつは (+)、もうひとつは (-) とされた。

規則に関するといってもその内容は多岐に及ぶため、4つの分科会を設け、事前検討した結果を全体会議で審議するという会議の進め方をとっている。

全体会議で委員の賛成を得た案件については、4月に開催される理事会に提案され、承認されれば重要事項を除いて、8月の総会で報告され規則修正へと至る。

重要事項については、総会で審議採択される。

4つの分科会は、「競技規則」、「競技場」、「テクノロジー」、「用器具」であり、私は用器具分科会長に指名されている。

## ◆主要議題

部会ごとに議論された主要議題はつぎのとおり。

### 【競技規則】

- ・加盟団体からの規則修正提案検討
- ・混成競技の実施方法の変更について
- ・義足の扱い

### 【競技場】

- ・2014年に承認されたトラック舗装材数及びクラス1、2競技場数報告
- ・円盤投専用囲いの高さは安全上問題ないか
- ・IAAF競技場認証の有効期限の設定について
- ・投てき競技実施可能な人工芝

### 【テクノロジー】

- ・不正スタート発見装置の名称変更
- ・～ False Start Control Apparatus ⇒ Start Information System
- ・同装置の比較検証実験について
- ・人工的スタート音について

### 【用器具】

- ・やりの構造規定について

### 【その他】

- 各部会からの他、つぎの議題が検討された。
  - ・施設マニュアル、レフェリーブック等最新版刊行計画
- 上記、主要議題のなかでも、日本に関わりがある内容について、以下、補足させていたたく。

## ◆日本からの規則修正提案

委員会が審議検討された各種提案内容については、最終的には8月の総会で正式決定されるので、来年2月に開催予定の本連盟競技運営責任者会議での伝達までお待ちいただくことになるが、今回、検討された計65件には、日本からのつぎの提案2件も含まれていた。本連盟競技運営委員会からの提案を受けて提出されたものである。

1. 助走路後方で待機することの禁止
2. 競歩のピットレーンルールを通達ではなく、正式にルールに掲載すること

前者については、規則180条2への追記することの提案であった。すなわち、助走路を使用する跳躍ややり投などで、試技する選手の後方に待機したり、一緒に助走する行為をルールで明確に禁止するよう求めたものである。モスクワの世界陸上の棒高跳では、後方に待機した選手が前者にプレッシャーをかけるような仕草があったし、走幅跳などで後方から一緒に助走した場合、前走者が急に止まると衝突の恐れがあり、危険である。しかし、委員会の結論は、現行のルールで、こうした行為への対処は可能であるとして、規則への追記は却下となった。

後者については、IAAFがジュニアとユースの競歩大会に限定して導入を推奨している「ピットレーン」ルールをルールブックに正式に掲載することの提案であった。このルールは、3回のレッドカードで失格とはせず、ある定められた時間、コース脇に設けたピットに該当者を待機させ再度、競技に戻すという特別ルールであり、IAAFは「通達文」で世界各国に導入をうながしているものの正式なルール化はなされていない。にもかかわらず、昨年、中国で開催されたユースオリンピックで導入され、本年の世界ユース選手権でも採用が決まっている。現行のルールに記載がないため、国内では競技役員への周知が不十分であることから実施に至っていない。日本と同じ内容の提案は、IAAF競歩委員会から提出されており、来年からルールブックに掲載される見通しとなった。

このほか、すでにルール反映されているが、9レーン外水濠の競技場で3000m障害物を実施する際、1周目では、スタートから1台目の距離を70mに確保した後、選手の通過後に、本来の位置に戻すという日本発案の方式における、障害物の最大許容移動距離が、日本の主張通りの内容で支持を得られたことは大きな成果だった。

## ◆義足は助力か、の議論

昨年のドイツ選手権で、義足の選手が走幅跳で優勝したこ

とから、義足の反発力による優位性について陸上関係者の間で「義足は助力か」という議論がされるようになり、今回の委員会でも大きな話題となった。一方で、障害のある選手を健常者の大会に迎え入れる動きも大きくなっており、ドイツのように国内選手権への参加を認めたり、IAAFダイヤモンドリーグで健常者と一緒に競技したりという事例は、世界の流れでもある。

今回、結論は出ず、継続審議となったが、いくつかの論点はつぎのようになる。

1. 義足は、助力、否か。
2. 義足を、シューズとみなすのか。
3. 義足の選手の記録は、健常者と同じに扱うか、否か。

過去、南アフリカのビストリウス選手が、スポーツ仲裁裁判所の判決により、北京オリンピックへの出場が認められた事例があるが、今後、本件は、技術委員会だけでなく、IAAF内では理事会をはじめ、関係する複数委員会、また国際パラリンピック委員会も交えて議論が継続されることになる。

#### ◆混成競技の実施方法の変更提案

IAAFの複数の関係者から、混成競技を魅力的にするためにとの理由で、つぎのような提案がなされている。つまり、最後の種目（十種競技の場合は1500m）は、一緒にスタートするのではなく、ポイント差に応じた、タイム差でスタートさせ、1500mのフィニッシュ順位、イコール、総合順位とすることで、観客にわかりやすい種目となる。という提案である。スキーの複合をヒントにしたのかもしれない。私個人的には、これまでの方式で十分に混成競技の魅力を感じるのだが、新方式支持者が徐々に増えてきている印象がある。今後、日本の関係者の意見も取りまとめる必要があると思われる。

#### ◆IAAF承認競技場の更新制度の導入

毎年、時報で報告しているが、IAAFは、競技場及び用器具の承認システム推進を積極的に進めている。競技場認証は、クラス1と2という2つの種別に分かれているが、この制度を担当するのも技術委員会である。4月1日現在、世界にクラス1は122か所、クラス2は585か所あり、国内にも現在、クラス1が3か所、クラス2が10か所と増加傾向にあり、近年、この認証システムの理解が進んできていると感じる。IAAFやアジア陸連の大会を開催するには承認は必須であり、世界記録及びアジア記録の公認にも必要である。また2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前宿泊誘致を目指す自治体にとっては、世界基準のスタジアムは有効なPR材料となる。

IAAFは、世界のどこにいても、すべての選手が同じ条件下で競技し記録が残せることを目的として、承認競技場の世界的普及を推し進めている。そのため途上国でも競技場承認が可能となるよう最低限守るべき基準を設定している。他方、日本には歴史ある競技場の公認制度が存在するが、スタンドの客席数や用器具の必要量の常備などIAAFより基準が厳しいほか、公認期間とその更新も厳格に定めているなど、世界に誇るべきものである。

日本では5年に1回、公認継続のための検定が義務付けられているが、IAAF認証は、これまで、有効期限を設けていなかった。この制度の世界的普及を考えれば、更新の手続きや更新料を設定しないにこしたことがないことは理解できるが、この制度が世界的に認知され認証施設が増えるに依り、問題も少なからず報告されるようになってきた。舗装材や緑石の劣化や破損、また地盤沈下により水たまりのできたトラックなどである。今回の委員会では認証の有効期限につ

て議論がなされた。結論は次回会議に持ち越されたが、有効期限導入はほぼ確実と思われる。日本の制度を紹介するなかで、5年に一度であることを紹介し、さらにIAAFが認証する道路コースも5年更新であることを例示したのだが、競技場認証も5年となれば、日本の継続検定と同時に実施できるので、競技場所有者の負担は少なくなる。問題は費用である。私は、途上国のことも考えれば更新費用は、無料でいいのではないかと提案しているが異論もあり、結論は出ていない。

#### ◆投てき可能な人工芝の開発

ここ数年、国内では、4種公認競技場限定であるが、投てき競技実施可能な人工芝の敷設が増えてきている。この製品は、日本の製造会社が初めて開発したもので、6年ほど前から委員会の席上で紹介し続けてきた。国際サッカー連盟がピッチへの人工芝導入に積極的なことから、IAAFとしても投てき競技も実施可能な人工芝の開発と普及が急務になっており、また各国からの問い合わせも多い案件である。IAAFは、イギリスにある検査機関と協力し、IAAF認証制度を確立するための検証作業を続けており、「日本の製品の質は極めて高く、サッカーとの共存も可能である」との報告がIAAFに提出されたものの以後、予算の問題もあり認証作業が宙ぶらりんの状態になっていた。

しかし、2014年2月の会議で、実際に投てき競技が実施されている国内の大学施設で、陸連施設用器具委員会が実地調査したビデオを持参し、委員会メンバーに具体的に説明したところ、委員会として、投てき競技実施可能な人工芝の使用を積極的に進めるよう、IAAFカウンスル会議に提言することになった。さらに、2014年5月に委員会の同僚を国内複数の競技場に案内したところ、そのクオリティの高さに驚いていた。IAAF内では、これまで「人工芝」という名称による先入観が、テニスコートのような「硬いマット」を連想させている印象があったようだ。

IAAF規則では「着地場所は、痕跡が残るシンダーや芝生または適当な素材でつくらなければならない」と定められているのみであり、「人工芝がダメ」とはどこにも書かれていない。すでに実用化されている日本製の「投てき可能な人工芝」は、痕跡も残り、実際の投てき競技会も実施されていることから、「IAAF規則に反していない」ではないかと、今回の委員会で、問いかけたところ、同僚委員からの支持もあり、委員会からの賛同を得ることができた。IAAFのお墨付きを得ることができたが、こうした流れを勘案すると、近い将来IAAF認証品に含まれることになると思われる。

#### ◆審判、競技、用器具関連のIAAF出版物

毎年、時報で紹介しているが、技術委員会は競技に関する各種の出版物を編集しており、IAAFサイトからダウンロードも可能である。

<http://www.iaaf.org/about-iaaf/documents/technical#manuals-guidelines>

2年前から、ルールの解釈が網羅された「レフェリーブック」と、施設の施行についての詳細を記載した「施設マニュアル」の最新版が発行されるとお伝えしてきたが、編集作業がずれ込んでいる。本年の刊行の予定である。

このほか、「競歩」「スターター」「写真判定」についての解説も発行されており、2020年に向けて、IAAFの審判法を理解するうえでも、本連盟競技運営委員会や施設用器具委員会を中心となり、これら刊行物の訳出を進めることが予定されている。

# 大会観戦ガイド

## 第99回日本陸上競技選手権大会 兼第15回世界陸上競技選手権大会 (2015 / 北京) 代表選手選考競技会

▼期日：2015年6月26日(金)～6月28日(日)

▼場所：デンカビッグスワンスタジアム

新潟県新潟市中央区清五郎67-12

▼アクセス：

JR新潟駅南口、デンカビッグスワンスタジアムへの路線バスの乗車口、①番乗り場。

所要時間約20分(片道料金:大人270円、小人140円)

「新潟市民病院経由曾野木ニュータウン行」、「新潟市民病院行」、「新潟市民病院経由大野行」を利用、「清五郎」下車。

スタジアムのイベント開催日(Jリーグなど)で臨時バスが運行される場合の乗車口は、臨時バス乗り場⑥⑦(プラーカ2)、乗車口は変更となる場合もございますので、現地をよくご確認のうえご乗車願います。タクシーなどの利用は所要時間約15分。



▼競技実施日：エントリー数により予選・準決勝はなくなる場合があるが、決勝実施日に変更はない。

[第1日目 6月26日(金)]

男子：200m予選 / 1500m予選 / 3000m障害物決勝

女子：200m予選 / 400m予選 / 1500m予選 /

10000m決勝 / 3000m障害物予選 / 走高跳決勝

/ 棒高跳決勝 / 三段跳決勝 / 円盤投決勝 /

やり投決勝

[第2日目 6月27日(土)]

男子：100m予選 / 200m決勝 / 400m予選 /

800m予選 / 1500m決勝 / 10000m決勝 /

110mH予選 / 400mH予選、準決勝 /

走高跳決勝 / 棒高跳決勝 / 三段跳決勝 /

円盤投決勝 / ハンマー投決勝

女子：100m予選 / 200m決勝 / 400m決勝 /

800m予選 / 1500m決勝 / 100mH予選、決勝

/ 400mH予選 / 走幅跳決勝 / 砲丸投決勝

[第3日目 6月28日(日)]

男子：100m決勝 / 400m決勝 / 800m決勝 /

5000m決勝 / 110mH準決勝、決勝 /

400mH決勝 / 走幅跳決勝 / 砲丸投決勝 /

やり投決勝

女子：100m決勝 / 800m決勝 / 5000m決勝 /

400mH決勝 / 3000m障害物決勝 /

ハンマー投決勝

The poster features a group of athletes in various sports uniforms, including a woman in a white and black uniform, a man in a black and white uniform, and a man in a white and black uniform. The text on the poster includes: "FLY! 2015 NIIGATA 日本選手権", "次の日本一は誰だ!?", "99TH 第99回日本陸上競技選手権大会(2015/北京) 代表選手選考競技会", "日本陸上競技選手権大会", "2015 6.26 FRI - 28 SUN 新潟/デンカビッグスワンスタジアム", and "会場". The poster also lists sponsors such as MAZDA, ASAHI, and NISHI.

【チケット情報】

前売り

券種	S席	A席	B席	団体S席 (10枚セット)	団体A席 (10枚セット)	団体B席 (10枚セット)
一般	2,000円 オフィシャル プログラム付	1,000円	—	—	—	—

当日売り

券種	S席	A席	B席	団体S席 (10枚セット)	団体A席 (10枚セット)	団体B席 (10枚セット)
一般	2,500円 オフィシャル プログラム付	1,500円	1,000円	22,500円	13,500円	9,000円
中・高校生	1,500円	1,000円	500円	13,500円	9,000円	4,500円
シルバー割 (60歳以上)	1,500円	1,000円	500円	—	—	—

※前売りチケットは、一般S席、A席のみ販売

※前売り、当日S席には、オフィシャルプログラム付(当日、プログラム販売所にてお渡しします)

※小学生以下は無料

※チケットはエリア指定のみ(座席指定無し)

※中・高校生、シルバー割引、中・高校生の団体を購入の際は、身分証明証の提示が必要

【ご注意】

- ・会場内にビン、カン等の危険物の持ち込みは出来ません。
- ・ペットを同伴してのご入場も出来ません。(盲導犬、聴導犬、介助犬等は入場できます。)
- ・チケットの払い戻しや、座席変更は致しかねますので、ご了承ください。

【前売りチケット販売概要】

販売期間：発売開始 2015年5月11日(月) 10:00  
～各開催日前日24:00まで

【販売窓口】

ローソンチケット(Lコード:32635)

インターネット予約:ローチケ.com

電話予約:0570-084-003(要Lコード)

CVS(店頭販売):ローソン店舗(Loppi)

チケットぴあ(Pコード:829-295)

インターネット予約:<http://pia.jp/t/>

電話予約:0570-02-9999(要Pコード)

CVS(店頭販売):チケットぴあ店舗、サークルK・サックス、セブン-イレブン

e+(イープラス)インターネット予約:<http://eplus.jp/>

CVS(店頭販売):ファミリーマート店舗(ファミポート)

ファミポート操作手順:チケット⇒e+(イープラス)

⇒スポーツ⇒その他スポーツ

CNプレイガイド

インターネット予約:<http://www.cnplayguide.com/>

電話予約:0570-08-9999 ※10:00~18:00

【チケットに関する問い合わせ】

大会運営本部(株式会社セレスポ内)

TEL:03-5974-1192

※土曜、日曜、祝日を除く 10:00~18:00

▼問合せ先

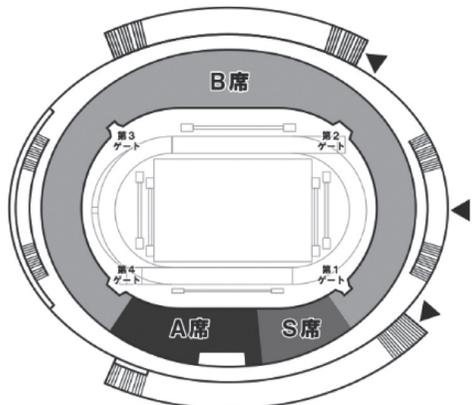
日本陸上競技連盟事務局

TEL:03-5321-6580 FAX:03-5321-6591

(土・日祝日を除く 10:00~12:00 / 13:00~18:00)

※大会の詳細は日本陸上競技連盟WEBサイト内、特設ページ<http://www.jaaf.or.jp/jch/99/>で随時アップします。

【エリア図】



## JAAF SAGA 一般財団法人佐賀陸上競技協会

〒840-0852 佐賀市中折町10-18 高橋正秀様方  
TEL.0952-23-8961 FAX.0952-23-8961  
http://www.sagarikujyo.jp/

今年開催される北京での第15回世界陸上競技選手権大会、韓国・光州での第28回ユニバーシアード大会のプレキャンプ地として佐賀県へニューランドチームが決定した。

7月にユニバーシアードの代表選手、8月に世界選手権の代表選手が佐賀県でプレキャンプをする。

佐賀県で初めての外国の陸上チーム代表が合宿をするので本県、高校生、中学生、小学生の陸上の強化普及になると思っております。

2015年度のトラック&フィールド競技会を開始し、4月11日開催の県春季ジュニア陸上記録会では世界選手権日本代表経験者3人を招待して開催した。招待選手は渡辺真弓選手(2007年、2009年代表)、千葉麻美選手(400m日本記録保持者)、青木沙弥佳選手(2007年、2009年代表)いずれも東邦銀行所属。3人を指導する川本和久監督が佐賀県出身ということから、1週間後の国際陸上競技大会に向けた調整を兼ねて参加された。子供たちもいろいろなアドバイスをうけ、走りについて参考にしたものがたくさんあったと目を輝かせていた。

## JAAF KUMAMOTO 一般財団法人熊本陸上競技協会

〒861-8046 熊本市石原2-9-1 熊本県民総合運動公園内  
TEL.096-388-1688 FAX.096-388-1688  
http://www.kumariku.org/

女子の新鋭・前田彩里選手(ダイハツ=熊本信愛女学院高校出)が、フルマラソン2度目の挑戦となる3月の名古屋ウィメンズマラソンで日本勢最高の3位に入賞、世界選手権(8月、北京)の代表を勝ち取った。前田選手は1月の第33回全国都道府県対抗女子駅伝で熊本のアンカーを務め、1分9秒差をひっくり返す区間賞の走りで8位入賞に貢献。その好調を維持しての快走だった。

トラックシーズンの幕開けを告げる第24回金栗記念選抜陸上中・長距離熊本大会(4月4日、うまかな・よかなスタジアム)には箱根駅伝で活躍した2組の双子ランナーが出場。男子1500mは村山絃太選手が日本人最高の3位に入り、兄の謙太選手(ともに旭化成)に圧勝。同5000mは設楽啓太選手(コニカミノルタ)が6位で、弟の悠太選手(Honda)に競り勝った。「熊本城マラソン2015」は2月15日、全国から集まった1万3000人が穏やかな日差しの中、沿道につめかけた19万人の声援を受けながら城下町を駆け抜けた。金栗記念熊日30キロの男子は木村慎選手(明治大学)がゴール寸前までの激戦を制し1時間31分27秒で初優勝、女子は野田沙織選手(大阪学院大学=千原台高校出)が1時間45分0秒で県勢初の頂点に立った。

次代のアスリート育成を目指し宮崎、鹿児島、沖縄の中学生を集めた合同合宿が3月21日から二日間、熊本市の水前寺競技場などで開かれ、熊本からは中学生に混じって小学生も参加、400人がキメ細かな指導を受けた。

(文責:企画・広報部長 永廣憲一)

## JAAF NAGASAKI 一般財団法人長崎陸上競技協会

〒854-0061 諫早市宇都町27-1  
一般社団法人 長崎県公園緑地協会管理事務所分室内  
TEL.0957-21-1921 FAX.0957-47-5411  
http://jaaf-nagasaki.net

長崎がんばらんば国体が終了し、新たな気持ちで和歌山国体へ向けて活動を始めました。長崎県当局も国体終了後の天皇杯順位の大幅な下落を無くすための施策を講じています。また、2020年東京オリンピックで、本県からオリンピック選手を数多く輩出することを目標に、ジュニア選手の強化策を新たに構築し補助金を予算化してくれました。我が陸上界でも、26年度から「しま事業」を「めざせ2020東京オリンピック」と発展して、小中学生の合同合宿練習会を実施しました。まだ、始めたばかりですが生徒の意識高揚には期待できると確信しています。ジュニア諸君の奮闘を期待します。

(文責:総務部長 藤島義信)

## JAAF OITA 一般財団人大分陸上競技協会

〒870-0931 大分市西浜1-1 大分市宮陸上競技場3階  
TEL.097-552-7808 FAX.097-552-7806  
http://www.d-b.ne.jp/oita-rik/

大分県強化担当者会議を3月末に開催しました。関係団体と各代表監督が一同に集まり、強化方針の確認、連携強化、相互理解など活発な意見交換がなされました。

小陸連と普及部の連携により、活発な小学生の陸上教室が県内各地で行われていることは、タレントプールを広げることに直結しています。

中体連スタッフ中心のジュニアオリンピック強化対策により、中学段階で全国大会を経験した選手が、国体の中心選手として昨年度も活躍しました。強化部長として力不足を、日々感じているのですが、関係スタッフのお陰で無事2期4年を終えることができました。

また、昨年度限りで濱本俊夫理事長が退任されました。大分国体や大分インターハイなど全国規模の大会が続きましたが、強化活動と競技運営両方に細かい配慮をして頂き、感謝の意は尽くせません。

船越武典新理事長のもと、新体制で開催された4月の大分県陸上競技選手権大会は、大会新3つと盛況に終わりました。

また、2月の別府大分毎日マラソンも新コースになることが計画されています。

多くの市民ランナーの来県をお待ちしております。

(文責:強化部長 廣末敬)

# 陸協NEWS



**JAAF**  
MIYAZAKI

一般財団法人宮崎陸上競技協会

〒880-0022 宮崎市大橋2-6-1 ヤオイビル5階  
TEL.0985-25-6011 FAX.0985-25-6011  
<http://www.miyariku.org/>

2巡目宮崎国体を成功させよう。11年後の国体に向け、招致活動を行うことが正式に決まった。前回は昭和54年(1979年)、実現すれば47年ぶりとなる。当時、「日本のふるさと宮崎国体」をキャッチフレーズに開催された。旭化成の宗茂(本協会理事)・猛選手らの全盛時代である。出場を予定していた30kmロードレースは台風接近の影響で中止された。あれから36年、本当に歳月の過ぎるのは早いものである。

宮崎陸協では11年後を視野に入れ、2015年度がスタートした。法人化して2年が経過。より一層の財政基盤の確立と組織の充実が求められている。選手強化事業や普及育成事業では、強化部と普及部の連携が功を奏して近年、国体や全国大会では安定して上位に食い込む選手が増えてきた。特に小中、中高指導者間の連携が密になってきたことが大きな要因であり、指導者の育成は順調であると言っても過言ではない。一方、1巡目宮崎国体以降、公認審判員は高齢化の一途であり、審判員数も陰りが見えてきた。このため、若手を中心に積極的に公認審判員を育成して、さらに進級の助長を図りながら、11年後に向けて、万全な競技会運営ができるように準備を進めてまいります。

上半期は、6月に実施する県民総合スポーツ祭(都市対抗のトラック&フィールド、ロードレース)と7月の県選手権大会を中心に実施することとなる。

中高生の活躍を励みにしながら、精力的な競技会運営にまい進したい。

(文責:総務部長 川内聖一)

**JAAF**  
OKINAWA

沖縄陸上競技協会

〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山51-2  
沖縄県体協スポーツ会館3階306号  
TEL.098-996-2881 FAX.098-996-2882  
<http://www.jaaf-okinawa.jp/>

今年度の本県開催大会の目玉は、「第70回九州陸上競技選手権大会(8月21日~23日)」と「第37回九州中学校陸上競技大会(8月9日~10日)」の二大会である。両大会とも今年3月に大型スクリーンが新設された県総合運動公園陸上競技場で開催されます。

特に九州陸上競技選手権大会は、開催70回目にして初の沖縄開催であり、歴史ある大会が成功に終わるように万全の体勢を整え、競技運営に臨みたい。更には地元選手の活躍で大会が大いに盛り上がる事を期待します。海を渡っての大会だけに参加人数の減少が心配されますが、九州各県の積極的な参加を強く要望します。

九州中学校陸上競技大会に向けては、本県中学校体育連盟陸上競技専門部を中心とした合同練習会や県外からの指導者招聘事業による練習会、JAAF U-16九州ブロック合宿への参加などを積極的に行い強化を図っており、地元本番での活躍を期待したいと思います。

今シーズンの開幕試合である「第28回海邦国体記念記録会(4月18日~19日)」の中学女子800mに於いて、川本莉子選手(中1・石垣島アスリート)が率先良く2分24秒08の中学1年800m県新記録を樹立しました。強風で雨という悪コンディションの中での記録であり今後が楽しみです。

シーズンも始まったばかりですが、今年度も昨年以上に県記録が誕生することを期待したいと思います。

(文責:競技部長 平良邦昭)

**JAAF**  
KAGOSHIMA

一般財団法人鹿児島陸上競技協会

〒890-0062 鹿児島市与次郎2-2-2 鴨池陸上競技場内  
TEL.099-259-6053 FAX.099-299-6054  
<http://www3.synapse.ne.jp/karikupage/>

去る3月8日(日)に女性部主催による第1回競技者のための栄養講習会を開催しました。「女性アスリートの食事」~自分の食事を振り返り、さらなる競技力の向上を目指そう!~というテーマで講習会を実施しました。講師として鹿児島栄養研究会の管理栄養士、田畑綾美氏を講師に迎え、一般・高校・中学の競技者、指導者、保護者125名が参加し、実際の自分の食事を振り返り、その食事の栄養とはたらきについての分析を行いました。その後、講師の田畑さんより女性アスリートの食事については勿論、女性アスリートが知っていて欲しい知識として「女性アスリートの3主徴」など大変興味深い内容を分かりやすく、アスリートの視点から講演をしていただきました。

本県では、東京オリンピックと時を同じくして鹿児島国体の開催が決定しており、本協会でも選手強化や大会運営の円滑化が活発化

するところ  
です。女性部  
としても更なる  
女性競技者の  
活躍の一助  
となる取り  
組みを今後も  
進めて参り  
たいと考えて  
おります。



事務局からのお知らせ

◆◆今年の日本陸上競技選手権大会は新潟で開催します！◆◆



今夏開催の第15回世界陸上競技選手権大会（2015 / 北京）の代表選手選考競技会を兼ねて開催する第99回日本陸上競技選手権大会。今年の日本選手権の舞台は、新潟、デンカビッグスワンスタジアム！

選手達の熱戦に是非、競技場でご声援をお願い致します。  
大会公式WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/jch/99/>

◆◆陸上競技ルールブック2015年度版、陸上競技審判ハンドブック2015-2016年度版を4月より全国の書店、ネット書店で販売を開始しました。◆◆

陸上競技関係者や愛好家のための2015年度版ルールブック、審判員のための2015-2016年度版審判ハンドブックの発売を開始しました。

修改正のあった国際及び日本国内陸上競技ルールを反映し、すべてのルールのほか競技場の仕様、全国の公認陸上競技場一覧などを掲載しているルールブック、競技規則を正しく把握して、審判技術の理解を深め円滑な競技会運営を実行するために審判員必携のハンドブック。

お近くの書店にない場合は、電話またはホームページからご購入いただけます。

お電話でのご注文の場合：0120-911-410(ベースボール・マガジン社 受注センター)

※受付時間 月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～16:00(祝祭日を除く)

ホームページからご注文の場合：ベースボール・マガジン社のホームページへ。

<http://bookcart.sportsclick.jp>



◆◆陸連時報を本連盟公式WEBサイトで公開しています！◆◆

2013年1月号から陸連時報を本連盟公式WEBサイトで公開しています。

アドレスは、<http://www.jaaf.or.jp/rikuren/jihou.html> です。

陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩 (陸連会長)  
三宅 勝次 (陸連副会長)  
友永 義治 (陸連副会長)  
尾縣 貢 (陸連専務理事)  
原田 康弘 (陸連強化委員長)  
風間 明 (陸連事務局長)  
牧野 豊 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

大嶋 康弘  
◇時報編集担当  
繁田 進  
石塚 浩  
木越 清信  
宮田 宏  
本田香代子  
森谷 真咲

陸連時報編集室

〒163-0717  
東京都新宿区西新宿2-7-1  
小田急第一生命ビル17階  
公益財団法人日本陸上競技連盟 内  
TEL 03-5321-6580  
FAX 03-5321-6591  
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>  
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>